

## 国指定重要文化財 小玉家住宅

小玉家は、小玉醸造株式会社の創業家で、家業のかたわら奥羽本線羽後飯塚駅や郵便局・銀行出張所の誘致、耕地整理などを手がけ、地域の振興に尽力した。

小玉家住宅主屋は、秋田地方の伝統的な民家の座敷構成を継承しつつ、多彩な庭園鑑賞を眼目とした接客空間を構成している。吟味された秋田杉の良材や銘木を用いて精緻に施工されており、優れた意匠をもつ近代の和風建築として価値が高い。また敷地内の3棟の蔵は、近代工法と伝統的意匠を融和させた洗練されたつくりで、地域の近代化を牽引した醸造家の屋敷構えをよく伝えており、庭門及び宅地と併せて、平成20年12月、国より重要文化財の指定を受けた。

## アクセス

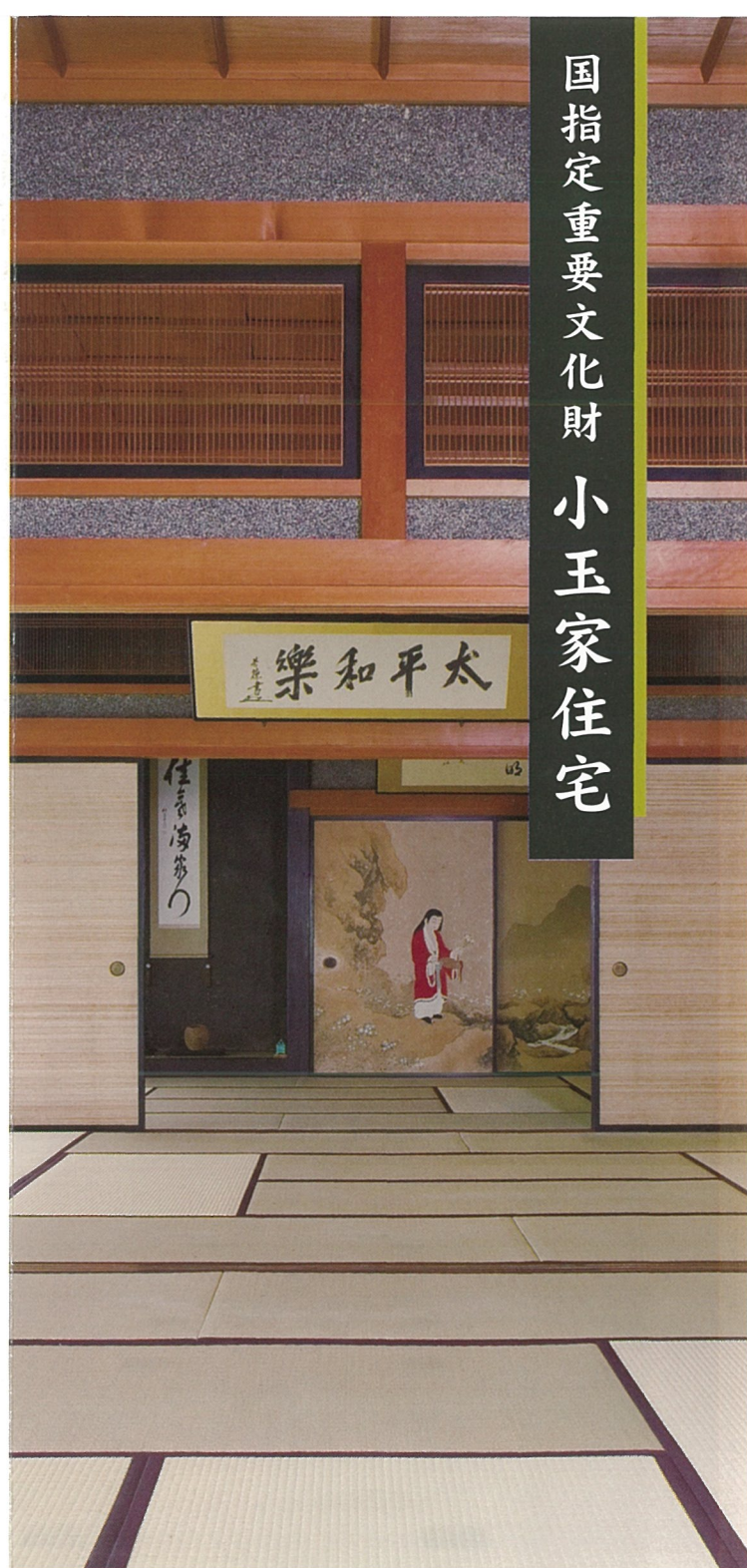
- 秋田空港からJR秋田駅までリムジンバスで約40分、JR秋田駅から羽後飯塚駅まで奥羽本線で約30分、JR羽後飯塚駅から徒歩で約10分
- JR秋田駅から車で約40分
- 秋田空港から車で約50分（秋田自動車道使用）昭和男鹿半島I.C.または国道7号を能代方面へ直進、国道285号交差点を直進、次の信号を左折、北都銀行と郵便局を直進すぐ



## 小玉家住宅

〒018-1504 秋田県潟上市飯田川飯塚字飯塚68

発行  
潟上市教育委員会 電話018-853-5363（文化スポーツ課）





玄関



土縁



座敷



玄関



中二階

### 【主屋】

大正12年(1923)竣工、木造一部2階建、鉄板葺玄関や奥座敷などの座敷部を中心に、雁行して中二階と台所を配す。良質な秋田杉や、鉄刀木(たがやさん)などの銘木を使い、座敷飾りには漆塗りを施している。奥座敷と中二階は柱を極力省き、縁越しに庭園を望む。

### 【文庫蔵】

大正12年(1923)上棟、土蔵造り3階建、棧瓦葺1階は半地下式とし、2階南面に黒漆喰の重厚な扉を設けて主屋と接続する。外壁は漆喰塗で腰に焼過煉瓦を積む。庇を支える方杖や肘木など、秋田地方独特の意匠を見せる。



文庫蔵(蔵前)



文庫蔵外観



米蔵(南面)

### 【米蔵】

大正12年(1923)竣工、木骨煉瓦造3階建、棧瓦葺東面の出入口に蔵前を設けて主屋と接続する。外壁上部は洗出し仕上げで石積風に目地を切り、腰は焼過煉瓦積とする。当初は2階建だったが、戦後階数を増やして倉庫に転用した。



旧薪置場・車庫・旧漬物場

### 【車庫】

大正12年(1923)竣工、煉瓦造1階建、棧瓦葺内部は3等分されており、中央を車庫、東室が旧漬物場、西室は旧薪置場である。小屋は組まず、煉瓦壁で直接母屋を受ける。外壁は意匠的に焼過煉瓦を用いる。